

第 1 ・ 2 学年 体育科

1 学年の目標

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

2 指導の要点

- (1) は、「知識及び技能」に関する目標であり、各種の運動遊びの楽しさに触れることを通して、その行い方を知るとともに、それらの基本的な動きを身に付けること及び体力を養うことを意図している。
- (2) は、「思考力、判断力、表現力等」に関する目標であり、各種の運動遊びを安全に楽しむための活動の仕方やルールなどを児童の力に応じて工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養うことを意図している。
- (3) は、「学びに向かう力、人間性等」に関する目標であり、運動やスポーツの価値のうち、公正、協力、責任、参画、健康・安全等に関する態度及び意欲的に運動遊びをする態度を養うことを意図している。特に、運動遊びをする際の良い人間関係が運動遊びの楽しさに大きな影響を与えることや、友達と共に進んで意思決定に関わることが、運動やスポーツの意義や価値等を知ることにつながることを踏まえたものである。また、児童の発達の段階に応じて、ルールやマナーを遵守することの大切さをはじめ、スポーツの意義や価値等に触れることができるよう指導等の改善を図ることで、オリンピック・パラリンピックに関する指導の充実に資するようにすることを意図している。

3 内容の取り扱い

運動の取り上げ方の弾力化により、「体づくりの運動遊び」以外のすべての指導内容について、2 学年のいずれかの学年で取り上げて指導する（指導内容の重点化などにより、まとめて指導する）こともできる。各学校の創意工夫を生かした指導計画が期待される。

領域	内 容		学年		備 考
			1 年	2 年	
体 づくりの運動遊び	体ほぐしの運動遊び		●	●	・ 体づくりの運動遊びについては、2 学年にわたって指導するものとする。 ・ 運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向や体力の低下傾向を受け、低学年から体づくりの運動遊びが取り上げられたことを踏まえて指導する。
	つ 多 く 様 々な運動動き遊び	体のバランスをとる運動遊び	●	●	
		体を移動する運動遊び			
		用具を操作する運動遊び			
		力試しの運動遊び			
器械・器具を使つての運動遊び	固定施設を使った運動遊び		★		・ 児童がそれぞれの器械・器具を使った多様な動き方や遊び方をイメージできるように図で掲示したり、集団で取り組める遊びを工夫したり、児童が創意工夫した動きを評価することが必要である。
	マットを使った運動遊び		★		
	鉄棒を使った運動遊び		★		

つ 器 て 械 の ・ 運 器 動 具 遊 を び 使	跳び箱を使った運動遊び 器械・器具を使つての運動遊び	★	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動と関連の深い動きを意図的に取り組ませ、基礎となる感覚を身に付けさせることが大切である。 ・単元を通して、準備運動の中で馬跳びやタイヤ跳びに取り組ませ、両手で支持してまたぎ越すことをさせていくことが大切である。
走 ・ 跳 の 運 動 遊 び	走の運動遊び	★	<ul style="list-style-type: none"> ・走・跳の運動遊びでは、走ったり跳んだりする動き自体の面白さ・心地よさを引き出す指導を基本にしながら、どのような力をもった児童においても競走（争）に勝つことができたり、意図的に運動に取り組むことができたりするように、楽しい活動の仕方や場の工夫をすることが大切である。 ・児童の実態に応じて投の運動遊びを加えて指導することができる。
	跳の運動遊び	★	
水 遊 び	水の中を移動する運動遊び	★	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の能力にふさわしい課題に挑み活動を通して水の特性について知り、水に慣れ親しむ。
	もぐる・浮く運動遊び	★	
ゲ ー ム	ボールゲーム	★	<ul style="list-style-type: none"> ・公正に行動する態度、特に勝敗の結果をめぐって正しい態度や行動がとれるようにすることが大切である。
	鬼遊び	★	
表 現 リ ズ ム 遊 び	表現遊び	★	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム遊びについては、簡単なフォークダンスを含めて指導することができる。 ・いろいろなものになりきりやすく、律動的な活動を好む低学年の児童の特性を生かした学習指導の進め方を工夫することが大切である。
	リズム遊び	★	
歌や運動を伴う伝承遊び及び 自然の中での運動遊び		○	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の実態に応じて加えて指導することができる。

●印は、必ずその学年で指導することを意味する。

★印は、いずれかの学年に分けて指導することができることを意味する。

○印は、地域や学校の実態に応じて加えて指導できることを意味する。

4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
知識・技能	各種の運動遊びの行い方について知っていると同時に、基本的な動きを身に付けている。
思考・判断・表現	各種の運動遊びの行い方を工夫していると同時に、考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	各種の運動遊びの楽しさに触れることができるよう、各種の運動遊びに進んで取り組もうとしている。